



令和2年2月12日(水)
国土交通省 関東地方整備局
河川部 河川環境課

記者発表資料

**利根川上流域の少雪を踏まえ、
利根川上流ダム群の貯水量を温存しています。**

**～2月10日から北千葉導水路を積極活用開始、
ダム補給量を抑制！～**

現在、利根川上流域の積雪深が平年以下となっており、この気象状況が継続すると春先の融雪水が少なく、利根川上流ダム群の貯水池に十分な水がなくなることが考えられます。

このため、東京2020オリンピック・パラリンピック
渇水対策協議会で策定した「渇水対応行動計画」に基づき
、利根川上流ダム群の貯水量温存が図れるよう北千葉導水路
の積極的活用を2月10日より開始しました。

今後も、引き続き気象状況を注視するとともに水不足が
生じないようダム等の供給施設のきめ細やかな運用を行っ
ていきます。

発表記者クラブ

埼玉県政記者クラブ、竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、
東京都庁記者クラブ、千葉県政記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、茨城県政記者クラブ、
栃木県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、水資源記者クラブ

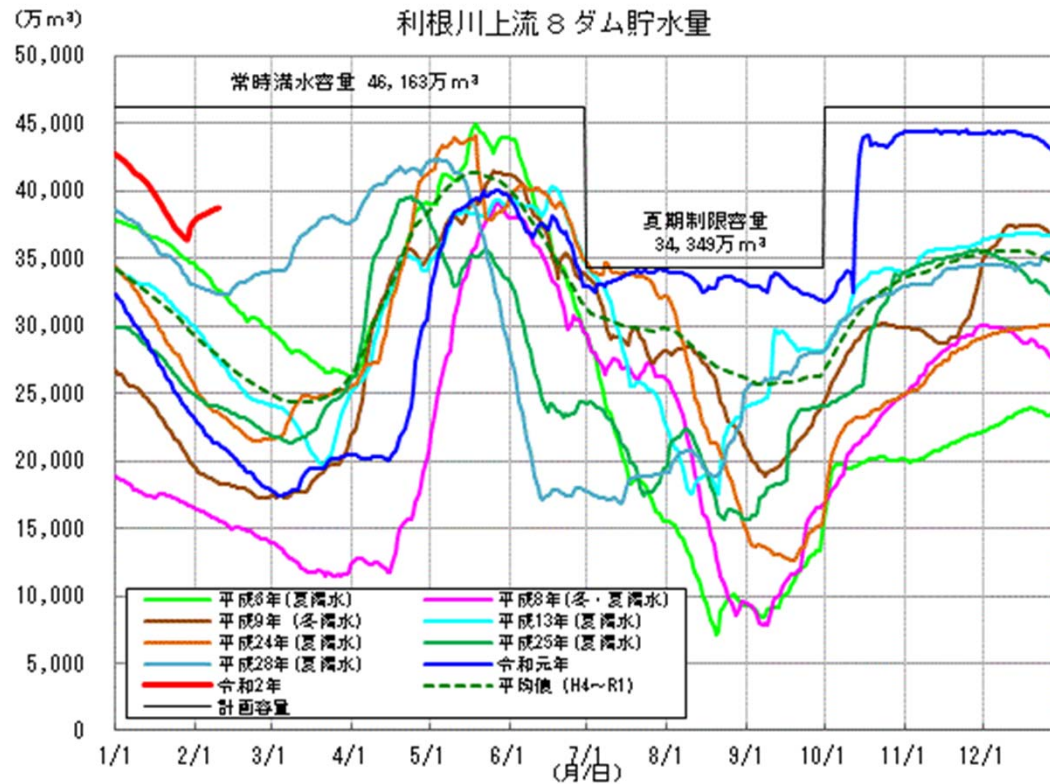
問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 (TEL)048-601-3151、(FAX)048-600-1379

よしかわこうじ つちやひでき
河川部河川環境課長 吉川宏治(内線3651)、建設専門官 土屋英樹(内線3652)

利根川上流8ダムの貯水状況（2月10日 0時現在）

○貯水量3億8,779万 m^3 【前日比：-69万 m^3 】
 ○貯水率84 %【平年比：140 %】

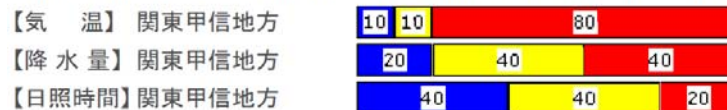


※利根川上流ダム群(8ダム)：矢木沢ダム、奈良俣ダム、藤原ダム、相俣ダム、
 藪原ダム、草木ダム、下久保ダム、渡良瀬貯水池

気象の見通し(気象庁)

○1か月予報(2月6日発表)

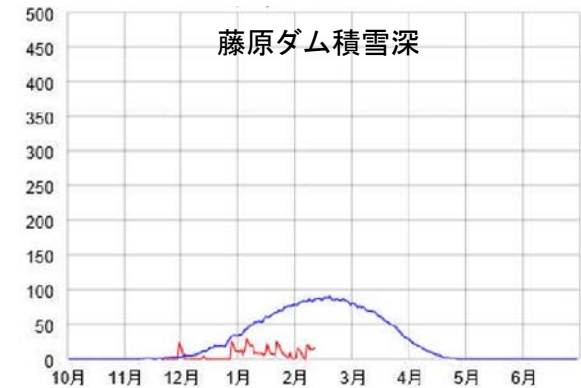
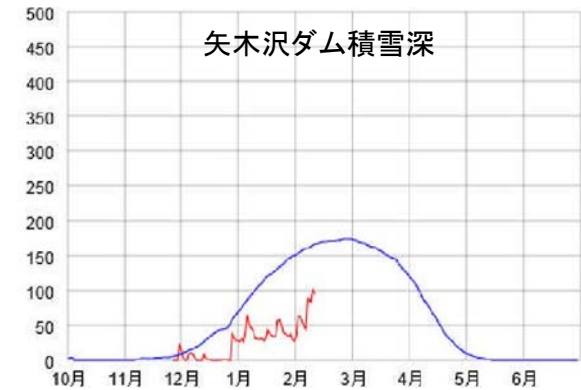
<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例： 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

利根川上流の積雪の状況（2月10日 9時現在）

○積雪の状況は、平年を下回る積雪深となっている。



(cm) - 当年 - 平均値

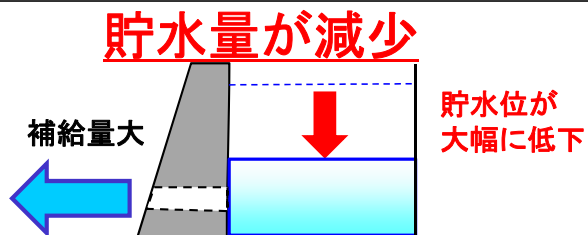
観測所	積雪深 (cm)	平均値 (cm)	平均値に対 する割合 (%)
矢木沢ダム	95	167	57
藤原ダム	16	86	19

■北千葉導水路、利根川連絡水路等の下流利水施設の運用強化

- 利根川上流ダム群の補給に先がけて、北千葉導水路等下流利水施設を活用し、霞ヶ浦や利根川下流部に集まった水を江戸川に供給することで、上流ダム群の貯水量を温存します。
- 2020年には運転日数、及び導水量を増やすことで、ダム補給量を抑制し、ダム貯水量の温存を目指します。

北千葉導水路等運用「なし」

・ダムの貯留水を大量に補給するため、**貯水量が減少**



北千葉導水路等運用「あり」

・ダムの貯留水からの補給量を抑制し、**貯水量を温存**

